

京浜歴科研年報

京浜歴史科学研究会

目 次

歴史的景観に思う	内田修道	(1)
老中阿部正弘と海防 —『阿部正弘事蹟』より—	伊東富昭	(2)
改正地租の性格規定をめぐって —国家=最高地主説を中心に—	奥田晴樹	(7)
京浜運河事業開始期の歴史相 —浅野埋立事業との関連を中心に—	新井一弘	(16)
<公開シンポジウムの記録>		
明治国家の成立と構造		(21)
明治憲法体制成立の意義 —予算案をめぐる立憲主義—	青山文久	(23)
<資 料>		
学習活動一覧(1989年11月~1991年10月)		(28)
編 集 後 記		(29)